

梨っ子だより

安城市立梨の里小学校No. 7

令和3年9月17日号

TEL 71-3345 FAX 74-5251

URL: <http://www.anjo.ed.jp/nashinosato/>

E-mail nashinosato@anjo.ed.jp

元気いっぱい やる気いっぱい 笑顔いっぱい

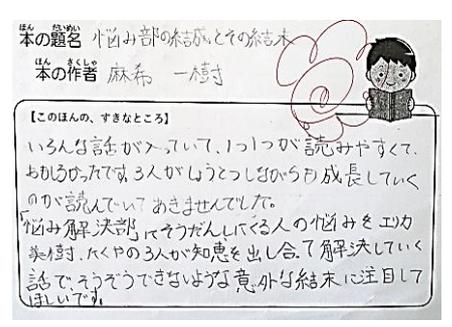
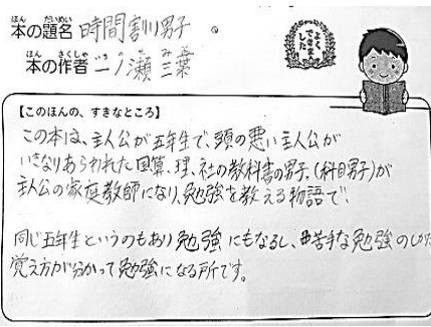
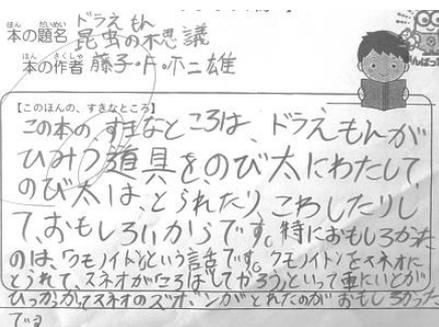
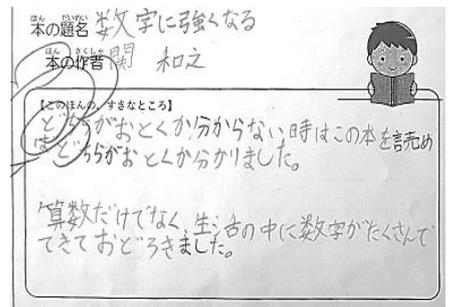
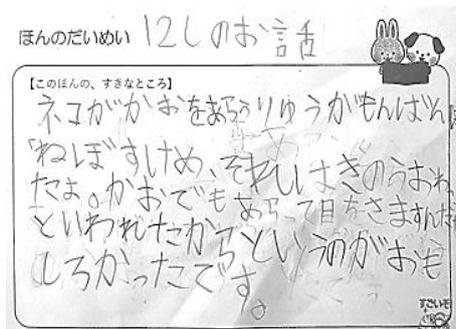
2学期が始まって2週間が過ぎ、子どもたちの学校生活も軌道に乗り始めました。学校では、学習に、運動に励む子どもたちの姿をたくさん見かけます。

9月6日(月)～8日(水)に開催しました夏休み作品展では、3日間でのべ247名もの保護者の皆様にご参観いただきました。子どもたちの作品はどれも力作ぞろいで、自分の興味関心を生かしたり、身近な人や生活の様子をヒントに取り組んだり、世界に目を向けて調べてみたりした研究や作品で体育館がいっぱいになりました。作品や研究の陰には、子どもたちの苦楽とともに、ご家族の励ましや支えもあったと思います。本当にありがとうございました。



本を読んで、世界を広げよう ～夏休み 梨っ子読書カードより～

夏休み明け、たくさんの読書カードが集まりました。子どもたちのカードには、読書の記録がおすすめ度の星とともにしっかり書かれていました。中には、1枚のカードでは足りずに自分で紙を足して提出してくれた子や、「87冊 21950 ページ」も読破した子もいました。



学習用 iPad 画面保護シート貼付のお願い ～iPad の使用の様子から～

授業でiPadを使用することが多くなりなりました。子どもたちの中には、画面保護シートが剥がれた状態で使用していることがあります。剥がれている場合は、貸与されたときと同じ状態(保護シートが貼ってある状態)で、安全面を図るためにシートの貼付をお願いします。剥がれかかっている場合も、学習に支障が生じますので、同様の対応をお願いします。なお、シートを新しくする場合は保障対象外となりご家庭でご準備いただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

新型コロナウイルス感染症に関するこれまでのお問い合わせ

保護者の皆様には、感染状況の推移に伴う様々な対応にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。緊急事態宣言が9月30日（木）まで延長され、行事や活動を制限する期間がもうしばらく続きます。お子様はもちろん、ご家族の健康状態によっては、お子様の登校等で迷われることも多いと思います。これまで、保護者の皆様よりお問い合わせのあった内容をご紹介します。今後も「学校側の説明不足」や、「想定外の状況下に遭遇した」等でお子様の対応に迷われた場合は、お問い合わせください。

① 児童の登校について

★ 家族がワクチン接種後に体調不良になった場合

厚生労働省では、ワクチン接種の後2日以上発熱が続く場合は受診を勧めています。ご家族の方で接種後2日以上体調不良が続く場合は、お子様の登校を控えていただきますようお願いいたします。

★ 平常時から体温が37度を超える場合

これまでも平常時から37度を超えることが頻繁にある場合におきましても、咳や鼻水等の他の症状が認められる場合は、お子様の登校を控えていただきますようお願いいたします。



② 登校前の健康チェックカードの提出について

文部科学省は、感染が拡大している状況下においては、児童だけでなく同居の家族も毎日健康観察を行い、児童が校舎に入る前に検温結果及び健康状態を把握するよう学校に求めています。こうした求めに応じるため、保護者の皆様には「登校前の健康チェックカード」の記入と提出をお願いしていますので、何卒ご理解ください。

③ オンライン授業や分散登校について

予定はありません。感染等による長期欠席が判明した場合は、学級担任がiPadを活用して個別に学習の補充を行っていきます。

10月の校内行事

★ 10月の予定 *行事につきましては、必ず各種お便りでご確認ください。

1日(金) 1~4年秋の遠足 *実施します。宣言が再延長された場合は、改めて実施日をお知らせします。

5日(火) ⑥委員会活動(5・6年)

7日(木)~8日(金) 6年生修学旅行

*実施します。宣言が再延長された場合は、改めて実施日をお知らせします。

7日(木) ④給食指導(1年)

8日(金) ④~下校後 5年避難所体験活動

13日(水) スクールカウンセラー来校日(終日)、①~③5年防災教室

14日(木) ①歯科健康教育(3年)

15日(金) 全校集会 読み聞かせ 13:25~

16日(土) PTA 運営委員会 9:00~

21日(木) 就学時健康診断 *当初の予定から変更になりました。一斉下校 13:00

22日(金) 児童集会、読み聞かせ 13:25~

27日(水) 乾電池回収

28日(木) ⑥委員会活動(5・6年)

29日(金) ⑤⑥運動会準備(6年)

30日(土) 運動会 *雨天の場合は10月31日(日)開催、運動会の代休は、11月1日(月)です。

裏面に、「第1回学校評価アンケート児童結果」を掲載しましたので、ご覧ください。

令和3年度 第1回学校評価アンケート結果(児童)

- ・全体では、質問8(3年生以上回答)を除いて、すべての質問で8割以上の肯定的な回答が得られた。
- ・特に、肯定的な回答が多かったのは、「4. 学校のきまりをまもっている」(93.7%)、「5. 早ね早おきや手あらい、マスクの着用がきちんとできている」(92.9%)、「7. iPad(アイパッド)を使った授業は、勉強に役立っている」(94.2%)であった。
- ・昨年度に比べ、否定的な回答のポイントが増加した項目は、「12. 自分にはよいところがある」(18.2%で0.5ポイント減)、「13. 先生は、あなたのよいところを知っていて、ほめてくれる」(14.1%で2.1ポイント減)、「14. 自分には、ゆめや大きくなったらやってみたいことがある」(13.0%で2.6ポイント減)であった。

	(人)	(%)	(%)	(P)	
1. 学校に行くのは楽しい。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてははまる	299	64.7	63.7	2.6	制限や制約が続く中でも、肯定的な回答がやや増加し、「あてはまらない」と回答する児童が減少した。コロナ禍は、新しい活動や工夫を生み出す機会にもなっていることを改めて意識し、今後の教育活動に生かしていきたい。
すこしあてはまる	106	22.9	21.4		
あまりあてはまらない	38	8.2	8.4	-2.6	
あてはまらない	19	4.1	6.5		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
2. 登下校は、きちんとならんでいる。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてははまる	222	48.1	56.2	0.3	肯定的な回答が増加したが「あてはまる」と回答する児童は減少した。登下校の安全は、児童の命に関わるものである。児童自らが交通規範意識を高めるよう、家庭や学区、ボランティアの方々と連携しながら繰り返し指導をしていく必要がある。
すこしあてはまる	165	35.7	27.3		
あまりあてはまらない	51	11.0	12.0	-0.3	
あてはまらない	24	5.2	4.5		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
3. 学校や登下校で、地域の大人の人や先生、友達にあいさつをしている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてははまる	265	57.4	54.1	0.5	校内では、進んであいさつをする子が多くみられた。校外でもボランティアの方や旗当番の保護者へのあいさつができるよう、さらに働きかけていきたい。
すこしあてはまる	131	28.4	31.1		
あまりあてはまらない	46	10.0	11.4	-0.4	
あてはまらない	20	4.3	3.3		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
4. 学校のきまりをまもっている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてははまる	263	56.9	59.4	1.9	児童の規範意識は高い。今後も、道徳教育全般において規範意識を高めるとともに、個別指導では丁寧で継続的な対応を進めていきたい。
すこしあてはまる	170	36.8	32.4		
あまりあてはまらない	21	4.5	7.1	-2.0	
あてはまらない	8	1.7	1.2		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
5. 早ね早おきや手あらい、マスクの着用がきちんとできている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてははまる	308	66.7			9割以上の児童が肯定的に回答した。新型コロナウイルス感染症が、基本的な生活習慣の大切さを見直し、習慣化を図る好機となっていることを踏まえ、今後も継続的に呼びかけていきたい。
すこしあてはまる	121	26.2			
あまりあてはまらない	24	5.2			
あてはまらない	9	1.9			

	(人)	(%)	(%)	(P)	
6. 授業はわかりやすく楽しい。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてははまる	283	61.3	59.1	2.1	昨年度に比べて肯定的な回答が多く、全体的にも改善傾向が見られた。今後は、授業内容を具体的にしたり視覚化したりできるiPadを教具の一部として効果的に活用するなど、さらに子どもたちが「わかる」授業の実現に取り組んでいきたい。
すこしあてはまる	127	27.5	27.5		
あまりあてはまらない	38	8.2	10.0	-2.0	
あてはまらない	14	3.0	3.3		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
7. iPad(アイパッド)を使った授業は、勉強に役立っている。			昨年第1回	比較増減	結果・考察
あてははまる	344	74.5			9割以上の児童が肯定的に回答し、iPadを活用した授業に対する児童の期待感がわかる結果であった。iPadを活用した授業において、学級や学年間で差が生じないよう、指導する教員の研さんを積み、情報共有していく必要がある。
すこしあてはまる	91	19.7			
あまりあてはまらない	17	3.7			
あてはまらない	10	2.2			

	(人)	(%)	(%)	(P)	
8. 学級の友達との話し合い活動を通じて、自分の考えを深めたり、考えを広げたりすることができている。(3～6年のみ回答)	昨年第1回			比較増減	結果・考察
あてははまる	111	36.2	33.8	2.1	昨年度に比べて肯定的な回答が多く、全体的にも改善傾向が見られたが、他の項目に比べると「あまりあてはまらない」と回答した児童が多い。児童にとって魅力ある話し合い活動の実現に向けて、さらに研究していく必要がある。
すこしあてはまる	117	38.1	38.4		
あまりあてはまらない	65	21.2	19.2	-2.0	
あてはまらない	14	4.6	8.5		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
9. こまっているときに、気づいてくれたり、声をかけてくれたりする友達が学級にいる。	昨年第1回			比較増減	結果・考察
あてははまる	281	60.8	54.4	2.7	昨年度に比べて肯定的な回答が多く、全体的にも改善傾向が見られた。かけがえのない子どもたちの命や安心・安全な生活を守るためにも、子どものサインを敏感に感じ取れる学級経営を心がけていきたい。
すこしあてはまる	110	23.8	27.5		
あまりあてはまらない	48	10.4	11.6	-2.9	
あてはまらない	22	4.8	6.5		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
10. 友だちや学級のために行動している。	昨年第1回			比較増減	結果・考察
あてははまる	233	50.4			昨年度の「進んで人の役に立つことをしている」では、肯定的な回答は77.0%であった。児童にとって、学級や身近な友達への貢献意識の高さが分かる結果であった。係活動や委員会活動等を通して、児童の活躍の場をさらに広げていきたい。
すこしあてはまる	178	38.5			
あまりあてはまらない	35	7.6			
あてはまらない	16	3.5			

	(人)	(%)	(%)	(P)	
11. みんなで力を合わせて取り組んで、うれしかったことがある。	昨年第1回			比較増減	結果・考察
あてははまる	305	66.0	45.6	12.4	昨年度との差は、新型コロナウイルス感染症による活動制限によるところが大きい。学校だからこそできる協働体験の場を、日々の学習や活動を通して味わわせていくことが、自己肯定感や自己有用感の育成につながっていくものと考え。
すこしあてはまる	109	23.6	31.6		
あまりあてはまらない	29	6.3	14.9	-12.6	
あてはまらない	18	3.9	7.9		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
12. 自分にはよいところがある。	昨年第1回			比較増減	結果・考察
あてははまる	238	51.5	54.2	-0.5	継続的な課題として、常に意識していきたい項目である。「自分にはよいところがある」(自己肯定感)という思いは、「学級の役に立った」「仲間に喜んでもらった」という自己有用感に裏付けられることも多い。学習や活動等の際には、自他を振り返り、互いに認め合える時間を意図的につくる必要がある。
すこしあてはまる	140	30.3	28.1		
あまりあてはまらない	55	11.9	11.0	0.5	
あてはまらない	29	6.3	6.7		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
13. 先生は、あなたのよいところを知っていて、ほめてくれる。	昨年第1回			比較増減	結果・考察
あてははまる	247	53.5	52.8	-2.1	課題として受け止める結果であった。児童と一緒に活動する機会をもつ中で、もっと一人一人の児童理解に努めていかなければならない。生活の様子について、日ごろから職員間で情報を共有したり、指導を振り返ったりして、児童の特性や指導すべき点を精選する必要がある。
すこしあてはまる	150	32.5	35.2		
あまりあてはまらない	45	9.7	9.8	2.1	
あてはまらない	20	4.3	2.2		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
14. 自分には、ゆめや大きくなったらやってみたいことがある。	昨年第1回			比較増減	結果・考察
あてははまる	328	71.0	75.6	-2.5	どの児童にも、夢をもち、夢をかなえてほしいと願っている。節目ごとに自分の成長や足跡を振り返りながら、自分の将来や生き方について考えることができるよう、キャリア・パスポートも活用しながら系統的に指導に当たりたい。
すこしあてはまる	74	16.0	13.9		
あまりあてはまらない	26	5.6	6.3	2.6	
あてはまらない	34	7.4	4.1		

	(人)	(%)	(%)	(P)	
15. 家の人と学校のことをよく話す。	昨年第1回			比較増減	結果・考察
あてははまる	286	61.9	57.5	5.9	昨年度に比べて肯定的な回答が多かった。成長段階においては、子どもたちが直接的な関わりを拒むこともある。日頃から学校と家庭との双方向の情報共有を図りながら、子どもたちの成長を支援する基盤づくりに努めていきたい。
すこしあてはまる	120	26.0	24.5		
あまりあてはまらない	43	9.3	11.4	-6.0	
あてはまらない	13	2.8	6.7		